

鳥取県土木工事共通仕様書 新旧対照表

現行 (令和3年版)					改定後 (令和6年版)					改定理由
編	章	節	条	項 以下	編	章	節	条	項 以下	
1	1	1	2	1	1	1	1	2	1	修正
1	1	1	2	7	1	1	1	2	7	修正
1	1	1	2	13	1	1	1	2	13	修正
1	1	1	2	23	1	1	1	2	23	押印等の見直しに伴う規定の変更
1	1	1	2	27	1	1	1	2	27	押印等の見直しに伴う規定の変更
1	1	1	2	28	2	1	1	2	28	改定の更新
					1	1	1	2	37	3-1-1-1から編入
					1	1	1	2	38	3-1-1-1から編入
1	1	1	2	37	1	1	1	2	37	
1	1	1	2	38	1	1	1	2	40	
1	1	1	2	39	1	1	1	2	41	
1	1	1	2	39	2	1	1	2	41	
1	1	1	2	40	1	1	1	2	42	
1	1	1	2	41	1	1	1	2	43	
1	1	1	2	42	1	1	1	2	44	
1	1	1	2	43	1	1	1	2	45	
1	1	1	2	44	1	1	1	2	46	
1	1	1	2	45	1	1	1	2	47	
1	1	1	2	46	1	1	1	2	48	
1	1	1	2	47	1	1	1	2	49	
1	1	1	2	48	1	1	1	2	50	
1	1	1	2	49	1	1	1	2	51	
1	1	1	2	50	1	1	1	2	52	
1	1	1	2	51	1	1	1	2	53	
1	1	1	3	1	1	1	1	3	1	設計業務等共通仕様書と表現を統一
1	1	1	7	2	1	1	1	7	2	構造物掘削等に伴う借地には、発注者の負担により借地する範囲もあることから規定に追記
1	1	1	8	0	2	1	1	8	0	県独自規定の廃止
1	1	1	10	1	1	1	1	10	1	施工体制台帳の作成等についての改正にともなう
1	1	1	10	2	1	1	1	10	2	施工体制台帳の作成等についての改正にともなう
1	1	1	10	3	1	1	1	10	3	監理技術者補佐制度の施行開始にともなう
1	1	1	14	1	2	1	1	14	1	誤植
1	1	1	14	3	1	1	1	14	3	工事の一時中止に伴う増加費用等の積算方法について(H28.3.14)及び本省版ガイドラインでは、「発注者に提出し協議する」と記載
					1	1	1	17	5	3-1-1-4から編入
1	1	1	17	5	1	1	1	17	6	
1	1	1	17	5	2	1	1	17	6	
1	1	1	17	6	1	1	1	17	7	
1	1	1	17	7	1	1	1	17	8	
1	1	1	17	8	1	1	1	17	9	
1	1	1	19	4	1	1	1	19	4	修正
					1	1	1	19	4	諸法令の改正にともなう
1	1	1	19	5	1	1	1	19	5	修正
					1	1	1	19	5	諸法令の改正にともなう
1	1	1	19	6	1	1	1	19	6	修正

鳥取県土木工事共通仕様書 新旧対照表

現行 (令和3年版)					改定後 (令和6年版)					改定理由	
編	章	節	条	項	編	章	節	条	項		
1	1	1	21	1	1	1	1	21	1	1	修正
1	1	1	24	3	1	1	1	24	3	1	文言の統一
1	1	1	24	3	3	1	1	24	3	3	最新通達の適用
1	1	1	24	3	4	1	1	24	3	4	誤字
1	1	1	27	1	1	1	1	27	1	1	諸基準類の改定にともなう
1	1	1	27	2	1	1	1	27	2	1	3-1-1-9から編入
1	1	1	27	3	1	1	1	27	3	1	3-1-1-9から編入
1	1	1	27	4	1	1	1	27	4	1	3-1-1-9から編入
1	1	1	27	5	1	1	1	27	5	1	
1	1	1	27	6	1	1	1	27	6	1	
1	1	1	27	7	1	1	1	27	7	1	
1	1	1	27	8	1	1	1	27	8	1	複数回に分けて実施できる規定の追記
1	1	1	27	8	2	1	1	27	8	2	
1	1	1	27	8	3	1	1	27	8	3	
1	1	1	27	8	4	1	1	27	8	4	
1	1	1	27	8	5	1	1	27	8	5	
1	1	1	27	8	6	1	1	27	8	6	
1	1	1	27	8	7	1	1	27	8	7	
1	1	1	27	9	1	1	1	27	9	1	
1	1	1	27	10	1	1	1	27	10	1	
1	1	1	27	11	1	1	1	27	11	1	
1	1	1	27	12	1	1	1	27	12	1	
1	1	1	27	13	1	1	1	27	13	1	
1	1	1	27	14	1	1	1	27	14	1	
1	1	1	27	15	1	1	1	27	15	1	
1	1	1	27	16	1	1	1	27	16	1	
1	1	1	27	17	1	1	1	27	17	1	
1	1	1	27	18	1	1	1	27	18	1	
1	1	1	31	6	1	1	1	31	6	1	諸基準類の改定にともなう
1	1	1	31	8	1	1	1	31	8	1	諸基準類の改定にともなう
1	1	1	31	9	1	1	1	31	9	1	諸基準類の改定にともなう

鳥取県土木工事共通仕様書 新旧対照表

現行 (令和3年版)					改定後 (令和6年版)					改定理由	
編	章	節	条	項	編	章	節	条	項		
										諸法令の改正にともなう	
					1	1	1	33	2	2.施工計画書	3-1-1-10から編入
1	1	1	33	2	1	1	1	33	3	3.輸送災害の防止	
1	1	1	33	3	1	1	1	33	4	4.交通安全等輸送計画	
1	1	1	33	4	1	1	1	33	5	5.交通安全法令の遵守	諸法令の改正にともなう 誤字
1	1	1	33	5	1	1	1	33	6	6.工事用道路使用の責任	
1	1	1	33	6	1	1	1	33	7	7.工事用道路共用時の処置	
					1	1	1	33	8	8.工事用道路の維持管理	3-1-1-10から編入
1	1	1	33	7	1	1	1	33	9	9.公共交通の確保	
1	1	1	33	8	1	1	1	33	10	10.水上輸送	
1	1	1	33	9	1	1	1	33	11	11.作業区域の標示等	
1	1	1	33	10	1	1	1	33	12	12.水中落下支障物の処置	
1	1	1	33	10	2						
1	1	1	33	11	1	1	1	33	13	13.作業船舶機械故障時の処理	
1	1	1	33	11	2						
1	1	1	33	12	1	1	1	33	14	14.通行許可等	諸法令の改正
1	1	1	33	12	2						
1	1	1	33	12	3						
1	1	1	35	1	4					諸法令の遵守 1.諸法令の遵守 (2)	建設業法(令和元年6月改正法律第37号)
1	1	1	35	1	6					(4)	労働基準法(平成30年7月改正法律第71号)
1	1	1	35	1	10					(8)	雇用保険法(平成30年7月改正法律第71号)
1	1	1	35	1	11					(9)	労働者災害補償保険法(平成30年5月改正法律第31号)
1	1	1	35	1	12					(10)	健康保険法(令和元年5月改正法律第9号)
1	1	1	35	1	13					(11)	中小企業退職金共済法(令和元年5月改正法律第16号)
1	1	1	35	1	14					(12)	建設労働者の雇用の改善等に関する法律(令和元年6月改正法律第37号)
1	1	1	35	1	15					(13)	出入国管理及び難民認定法(平成30年12月改正法律第102号)
1	1	1	35	1	16					(14)	道路法(平成30年3月改正法律第6号)
1	1	1	35	1	17					(15)	道路交通法(令和元年6月改正法律第37号)
1	1	1	35	1	18					(16)	道路運送法(令和元年6月改正法律第37号)
1	1	1	35	1	19					(17)	道路運送車両法(令和元年6月改正法律第37号)
1	1	1	35	1	22					(20)	河川法(平成29年6月改正法律第45号)
1	1	1	35	1	24					(22)	港湾法(令和元年6月改正法律第37号)
1	1	1	35	1	25					(23)	港則法(平成28年5月改正法律第42号)
1	1	1	35	1	27					(25)	下水道法(平成27年5月改正法律第22号)
1	1	1	35	1	28					(26)	航空法(令和元年6月改正法律第38号)
1	1	1	35	1	30					(28)	軌道法(平成29年6月改正法律第45号)
1	1	1	35	1	31					(29)	森林法(平成30年6月改正法律第35号)
1	1	1	35	1	32					(30)	環境基本法(平成30年6月改正法律第50号)
1	1	1	35	1	33					(31)	火薬類取締法(令和元年6月改正法律第37号)
1	1	1	35	1	34					(32)	大気汚染防止法(平成29年6月改正法律第45号)
1	1	1	35	1	40					(38)	文化財保護法(平成30年6月改正法律第42号)
1	1	1	35	1	42					(40)	電気事業法(平成30年6月改正法律第41号)
1	1	1	35	1	43					(41)	消防法(平成30年6月改正法律第67号)
1	1	1	35	1	45					(43)	建築基準法(令和元年6月改正法律第37号)
1	1	1	35	1	47					(45)	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成26年6月改正法律第55号)
1	1	1	35	1	50					(48)	海上交通安全法(平成28年5月改正法律第42号)
1	1	1	35	1	52					(50)	海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律(令和元年5月改正法律第18号)
1	1	1	35	1	53					(51)	船員法(平成30年6月改正法律第41号)
1	1	1	35	1	55					(53)	船舶安全法(平成29年5月改正法律第41号)
1	1	1	35	1	57					(55)	自然公園法(令和元年6月改正法律第37号)
1	1	1	35	1	58					(56)	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律(令和元年6月改正法律第37号)
1	1	1	35	1	59					(57)	国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成27年9月改正法律第66号)
1	1	1	35	1	62					(60)	漁業法(令和元年5月改正法律第1号)
1	1	1	35	1	63					(61)	空港法(令和元年6月改正法律第37号)
1	1	1	35	1	65					(63)	厚生年金保険法(平成30年7月改正法律第71号)
1	1	1	35	1	66					(64)	航路標識法(平成28年5月改正法律第42号)
1	1	1	35	1	67					(65)	資源の有効な利用の促進に関する法律(平成26年6月改正法律第69号)
1	1	1	35	1	69					(67)	職業安定法(令和元年6月改正法律第37号)

鳥取県土木工事共通仕様書 新旧対照表

現行 (令和3年版)					改定後 (令和6年版)					改定理由				
編	章	節	条	項	編	章	節	条	項					
1	1	1	35	1	1	1	1	35	1	70	(68)	所得税法 (令和4年6月改正 法律第71号)	諸法令の改正	
1	1	1	35	1	1	1	1	35	1	72	(70)	船員保険法 (令和3年6月改正 法律第66号)	諸法令の改正	
1	1	1	35	1	1	1	1	35	1	73	(71)	著作権法 (令和3年6月改正 法律第52号)	諸法令の改正	
1	1	1	35	1	1	1	1	35	1	74	(72)	電波法 (令和4年6月改正 法律第70号)	諸法令の改正	
1	1	1	35	1	1	1	1	35	1	75	(73)	土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法 (令和4年4月改正 法律第32号)	諸法令の改正	
1	1	1	35	1	1	1	1	35	1	76	(74)	労働保険の保険料の徴収等に関する法律 (令和4年3月改正 法律第12号)	諸法令の改正	
1	1	1	35	1	1	1	1	35	1	77	(75)	農業取締法 (令和元年12月改正 法律第62号)	諸法令の改正	
1	1	1	35	1	1	1	1	35	1	82	(80)	個人情報の保護に関する法律 (令和4年5月改正 法律第54号)	諸法令の改正	
1	1	1	35	1	1	1	1	35	1	83	(81)	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 (令和2年6月改正 法律第42号)	諸法令の改正	
					1	1	1	38	4	1	4.仮設標識	受注者は、丁張、その他工事施工の基準となる仮設標識を、設置しなければならない。	3-1-1-11から編入	
1	1	1	38	4	1	1	1	38	5	1	5.工事用測量標の取扱い	受注者は、用地幅杭、測量標 (仮BM)、工事用多角点及び重要な工事用測量標を移設してはならない。ただし、これを存置することが困難な場合は、監督員の承諾を得て移設することができる。また、用地幅杭が現存しない場合は、監督員と協議しなければならない。		
1	1	1	38	4	2	1	1	38	5	2		なお、移設する場合は、隣接地所有者との間に紛争が生じないようにしなければならない。		
1	1	1	38	5	1	1	1	38	6	1	6.既存杭の保全	受注者は、工事の施工にあたり、損傷を受けるおそれのある杭または障害となる杭の設置換え、移設及び復元を含めて、発注者の設置した既存杭の保全に対して責任を負わなければならない。		
1	1	1	38	6	1	1	1	38	7	1	7.水準測量・水深測量	水準測量及び水深測量は、設計図書に定められている基準高あるいは工事用基準面を基準として行うものとする。		
1	1	1	40	3	1	1	1	40	3	1	3.著作権法に規定される著作物	発注者が、引渡しを受けた契約の目的物が著作権法 (平成30年7月改正 法律第72号第2条第1項第1号) に規定される著作物に該当する場合は、当該著作物の著作権は発注者に帰属するものとする。	諸法令の改定	
					1	1	1	41	4	1	4.法定外の労災保険の付保	受注者は、法定外の労災保険に付さなければならない。	条文の追加	
1	1	1	41	4	1	1	1	41	5	1	5.補償	受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。		
1	1	1	41	5	1	1	1	41	6	1	6.建設業退職金共済制度の履行	受注者は、建設業退職金共済制度に該当する場合は同制度に加入し、その掛金収納書 (発注者用) を工事請負契約締結後原則1ヶ月以内に、発注者に提出しなければならない。	修正	
					1	1	1	41	6	2		また、工事完成時、速やかに掛金充当実績総括表を作成し、監督員に提示しなければならない。	条文の追加	
					1	1	1	43	0	1	1-1-1-43	石綿使用の有無	新規追加	
					1	1	1	43	1	1		受注者は、建築物・工作物等の解体・改修工事を行う際、石綿 (アスベスト) の使用の有無の「事前調査」を行わなければならない。石綿障害予防規則に基づく一定規模以上の工事については「事前調査結果の報告」を労働基準監督署及び県 (東部地区は鳥取市) に届出を行わなければならない。また、大気汚染防止法に基づき、特定粉じん発生施設を設置しようとするときは、県 (東部地区は鳥取市) に届出を行わなければならない。	新規追加	
1	2	2	0	0	3	1	2	2	0	0	3		また、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と協議しなければならない。	改定までの読替え明示
1	2	2	0	0	15	1	2	2	0	0	15		日本道路協会 道路土工構築物技術基準・同解説 (平成29年3月)	諸基準類の改定にともなう
1	2	3	2	6	1	1	2	3	2	6	1	掘削工 6.残土運搬時の注意	受注者は、掘削工により発生する残土を受入れ地へ運搬する場合には、沿道住民に迷惑がからないように <u>つとめ</u> なければならない。	誤植
1	2	3	3	11	1	1	2	3	3	11	1	11.採取土及び購入土運搬時の注意	受注者は、採取土盛土及び購入土盛土の施工にあたって、採取土及び購入土を運搬する場合には沿道住民に迷惑がからないように <u>つとめ</u> なければならない。流用土盛土及び発生土盛土の施工にあっても、一般道路を運搬に利用する場合も同様とするものとする。	誤植
1	2	3	4	2	1	1	2	3	4	2	1	盛土補強工 2.盛土材の確認	盛土材については設計図書によるものとする。受注者は、盛土材のまきだしに先立ち、予定している盛土材の確認を行い、設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。	誤植
1	2	3	4	3	1	1	2	3	4	3	1	3.基盤面の排水処理	受注者は、第一層の補強材の敷設に先立ち、現地盤の伐開除根及び不陸の整地を行なうとともに、設計図書に関して監督員と協議のうえ、基盤面に排水処理を行わなければならない。	誤植
1	2	3	4	8	1	1	2	3	4	8	1	8.盛土材のまき出し及び締固め	受注者は、盛土材のまき出し及び締固めについては、第1編1-2-3-3盛土工の規定により一層ごとに適切に施工しなければならない。まき出し及び締固めは、壁面工側から順次奥へ行なうとともに、重機械の急停止や急旋回等を避け、補強材にずれや損傷を与えないように注意しなければならない。	誤植
1	2	3	7	2	1	1	2	3	7	2	1	残土処理工 2.残土運搬時の注意	残土を受入れ地へ運搬する場合には、沿道住民及び道路利用者に迷惑がからないように <u>つとめ</u> なければならない。	誤植
1	2	4	1	15	2	1	2	4	1	15	2	一般事項 15.伐開除根作業範囲	表1-2-3 伐開除根作業	道路土工盛土工指針 5-2基礎地盤の処理との整合
1	2	4	2	6	1	1	2	4	2	6	1	掘削工 6.硬岩掘削時の注意	受注者は、硬岩掘削における法の仕上り面近くでは過度な発破を <u>避</u> けるものとし、浮石等が残らないようにしなければならない。	誤植
1	2	4	3	14	1	1	2	4	3	14	1	路床盛土工 14.採取土及び購入土運搬時の注意	受注者は採取土盛土及び購入土盛土の施工にあたって、採取土及び購入土を運搬する場合には沿道住民に迷惑がからないように <u>つとめ</u> なければならない。流用土盛土及び発生土盛土の施工にあっても、一般道路を運搬に利用する場合も同様とするものとする。	誤植
1	2	4	4	11	1	1	2	4	4	11	1	路床盛土工 11.接続部の緩和区間	受注者は、特に指示する場合を除き、片切り、片盛りの接続部には1:4程度の勾配をもって緩和区間を設けなければならない。また、掘削 (切土) 部、盛土部の縦断方向の接続部にはすり付け区間を設けて路床支持力の不連続を <u>さ</u> なければならない。	誤植
1	2	4	4	16	1	1	2	4	4	16	1	16.採取土及び購入土を運搬の注意	受注者は、採取土盛土及び購入土盛土の施工にあたって、採取土及び購入土を運搬する場合には沿道住民に迷惑がからないように <u>つとめ</u> なければならない。流用土盛土及び発生土盛土の施工にあっても、一般道路を運搬に利用する場合も同様とするものとする。	誤植
1	3	1	0	3	1	1	3	1	0	3	1	3.適用規定(2)	受注者は、コンクリートの施工にあたり、設計図書に定めのない事項については、「コンクリート標準示方書 (施工編) (土木学会、平成30年3月) のコンクリートの品質の規定による。これ以外による場合は、施工前に、設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。	
1	3	2	0	1	3	1	3	2	0	1	3	適用すべき諸基準 1.適用規定	土木学会 コンクリート標準示方書 (施工編) (平成30年3月)	誤植
1	3	2	0	1	4	1	3	2	0	1	4	土木学会 コンクリート標準示方書 (設計編) (平成30年3月)	誤植	
1	3	2	0	1	5	1	3	2	0	1	5	土木学会 コンクリートのポンプ施工指針 (平成24年6月)	誤植	
1	3	2	0	1	8	1	3	2	0	1	8	土木学会 鉄筋定着・継手指針 (平成19年8月)	誤植	
1	3	2	0	1	9	1	3	2	0	1	9	公益社団法人日本鉄筋継手協会 鉄筋継手工事標準仕様書ガス圧接継手工事 (平成29年9月)	修正	
1	3	3	2	1	2	1	3	3	2	1	2	工場の選定 1.一般事項 (1)	JISマーク表示認証製品を製造している工場 (産業標準化法の一部を改正する法律 (平成30年5月30日公布 法律第33号) に基づき国に登録された民間の第三者機関 (登録認証機関) により製品にJISマーク表示する認証を受けた製品を製造している工場) で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者 (コンクリート主任技士等) が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場 (全国生コンクリート品質管理協議会の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等) から選定しなければならない。	修正
1	3	3	2	1	3	1	3	3	2	1	3	(2)	JISマーク表示認証製品を製造している工場 (産業標準化法 (平成30年5月改正 法律第33号) に基づき国に登録された民間の第三者機関 (登録認証機関) により製品にJISマーク表示する認証を受けた製品を製造している工場) が工事現場近くに見当たらない場合は、使用する工場について、設計図書に指定したコンクリートの品質が得られることを確かめたうえ、その資料により監督員の確認を得なければならない。	修正
1	3	3	3	1	1	1	3	3	3	1	1	配合 1.一般事項	受注者は、コンクリートの配合において、設計図書の規定のほか、構造物の目的に必要な強度、耐久性、ひび割れ抵抗性、鋼材を保護する性能、水密性及び作業に適するワーカビリティを <u>つとめ</u> る範囲内で単位水量を少なくするように定めなければならない。	諸基準類の改定にともなう
1	3	5	4	2	11	1	3	5	4	2	11	材料の計量及び練混ぜ 2.材料の軽量 (6)	受注者は、各材料を、一バッチ分ずつ質量で計量しなければならない。ただし、水及び混和剤溶液は容積で計量してもよいものとする。	諸基準類の改定にともなう
1	3	5	4	2	12	1	3	5	4	2	12		なお、一バッチの量は、工事の種類、コンクリートの打込み量、練混ぜ設備、運搬方法を考慮して定めなければならない。	

鳥取県土木工事共通仕様書 新旧対照表

現行(令和3年版)						改定後(令和6年版)						改定理由									
編	章	節	条	項	以下	編	章	節	条	項	以下		編	章	節	条	項	以下			
1	3	5	4	3	2	(1)	1	3	5	4	3	2	(1)	1	3	5	4	3	2	(1)	JIS名称変更(ミキサ)
1	3	5	4	3	3	(2)	1	3	5	4	3	3	(2)	1	3	5	4	3	3	(2)	JIS名称変更(ミキサ)
1	3	5	4	3	4	(3)	1	3	5	4	3	4	(3)	1	3	5	4	3	4	(3)	JIS名称変更(ミキサ)
1	3	5	4	3	6	(4)	1	3	5	4	3	6	(4)	1	3	5	4	3	6	(4)	JIS名称変更(ミキサ)
1	3	5	4	3	8	(6)	1	3	5	4	3	8	(6)	1	3	5	4	3	8	(6)	JIS名称変更(ミキサ)
1	3	5	4	3	9	(7)	1	3	5	4	3	9	(7)	1	3	5	4	3	9	(7)	JIS名称変更(ミキサ)
1	3	5	4	3	10	(8)	1	3	5	4	3	10	(8)	1	3	5	4	3	10	(8)	JIS名称変更(ミキサ)
1	3	5	4	3	11	(9)	1	3	5	4	3	11	(9)	1	3	5	4	3	11	(9)	JIS名称変更(ミキサ)
1	3	5	4	3	12		1	3	5	4	3	12		1	3	5	4	3	12		JIS名称変更(ミキサ)
1	3	6	4	5	1	打設 5.コンクリートポンプ 使用時の注意	1	3	6	4	5	1	打設 5.コンクリートポンプ 使用時の注意	1	3	6	4	5	1	打設 5.コンクリートポンプ 使用時の注意	誤植
1	3	6	5	3	1	締固め 3.上層下層一体の締固め	1	3	6	5	3	1	締固め 3.上層下層一体の締固め	1	3	6	5	3	1	締固め 3.上層下層一体の締固め	条文の追加
1	3	7	3	3	1	加工 3.鉄筋の曲げ半径	1	3	7	3	3	1	加工 3.鉄筋の曲げ半径	1	3	7	3	3	1	加工 3.鉄筋の曲げ半径	誤植
1	3	7	4	3	1	組立て 3.鉄筋かぶりの確保	1	3	7	4	3	1	組立て 3.鉄筋かぶりの確保	1	3	7	4	3	1	組立て 3.鉄筋かぶりの確保	コンクリート標準示方書と用語を統一(スペーサー)
1	3	7	4	3	2		1	3	7	4	3	2		1	3	7	4	3	2		コンクリート標準示方書と用語を統一(スペーサー)
1	3	7	5	3	1	継手 3.継手位置	1	3	7	5	3	1	継手 3.継手位置	1	3	7	5	3	1	継手 3.継手位置	諸基準類の改定にともなう
							1	3	7	5	8	1	8.機械式鉄筋継手								新規追加
							1	3	7	5	8	2	(1)								新規追加
							1	3	7	5	8	3	①								新規追加
							1	3	7	5	8	4	②								新規追加
							1	3	7	5	8	5	(2)								新規追加
1	3	10	2	4	1	施工 4.材料投入順序の設定	1	3	10	2	4	1	施工 4.材料投入順序の設定	1	3	10	2	4	1	施工 4.材料投入順序の設定	JIS名称変更(ミキサ)
1	3	10	3	5	1	養生 5.養生中のコンクリート温度	1	3	10	3	5	1	養生 5.養生温度	1	3	10	3	5	1	養生 5.養生温度	コンクリート標準示方書と用語を統一
1	3	13	3	4	3	コンクリートの製造 4.練混ぜ	1	3	13	3	4	3	コンクリートの製造 4.練混ぜ	1	3	13	3	4	3	コンクリートの製造 4.練混ぜ	JIS名称変更(ミキサ)
1	3	13	3	4	10	(5)	1	3	13	3	4	10	(5)	1	3	13	3	4	10	(5)	JIS名称変更(ミキサ)
1	3	13	3	5	1	5.ミキサ、運搬機器の 洗浄及び洗浄排水の処理	1	3	13	3	5	1	5.ミキサ、運搬機器の 洗浄及び洗浄排水の処理	1	3	13	3	5	1	5.ミキサ、運搬機器の 洗浄及び洗浄排水の処理	JIS名称変更(ミキサ)
1	3	13	3	5	2	(1)	1	3	13	3	5	2	(1)	1	3	13	3	5	2	(1)	JIS名称変更(ミキサ)
1	3	14	2	1	2	(1)	1	3	14	2	1	2	(1)	1	3	14	2	1	2	(1)	JIS名称変更(ミキサ)
1	3	14	3	5	2	(1)	1	3	14	3	5	2	(1)	1	3	14	3	5	2	(1)	JIS名称変更(ミキサ)
1	3	14	3	5	4	(3)	1	3	14	3	5	4	(3)	1	3	14	3	5	4	(3)	JIS名称変更(ミキサ)
2	1	2	4	0	1	工事材料の品質 4.見本・品質証明資料	2	1	2	4	0	1	工事材料の品質 4.見本・品質証明資料	2	1	2	4	0	1	工事材料の品質 4.見本・品質証明資料	修正
							2	2	3	1	1	9	一般事項 1.適合規格								追加
2	2	6	3	5	1	5.急結剤	2	2	6	3	5	1	5.急結剤	2	2	6	3	5	1	5.急結剤	誤植
2	2	8	3	0	2	再生用添加剤の品質は、労働安全衛生法施行令(令和元年6月改正政令第19号)に規定されている特定化学物質を含まないものとし、表2-2-24、表2-2-25、表2-2-26の規格に適合するものとする。	2	2	8	3	0	2	再生用添加剤の品質は、労働安全衛生法施行令(令和4年2月改正政令第51号)に規定されている特定化学物質を含まないものとし、表2-2-24、表2-2-25、表2-2-26の規格に適合するものとする。	2	2	8	3	0	2	再生用添加剤の品質は、労働安全衛生法施行令(令和4年2月改正政令第51号)に規定されている特定化学物質を含まないものとし、表2-2-24、表2-2-25、表2-2-26の規格に適合するものとする。	諸法令の改正にともなう
2	2	12	1	0	6	JIS K 6744 (ポリ塩化ビニル被覆金属板)	2	2	12	1	0	6	JIS K 6744 (ポリ塩化ビニル被覆金属板及び金属帯)	2	2	12	1	0	6	JIS K 6744 (ポリ塩化ビニル被覆金属板及び金属帯)	JIS名称変更にともなう
2	2	13	2	0	10	JIS C 8430 (硬質塩化ビニル電線管)	2	2	13	2	0	10	JIS C 8430 (硬質ポリ塩化ビニル電線管)	2	2	13	2	0	10	JIS C 8430 (硬質ポリ塩化ビニル電線管)	JIS名称変更にともなう
3	1	1	1	0	1	3-1-1-1 用語の定義															1-1-1-2 に移動
3	1	1	1	1	1	1.一般事項															1-1-1-2 に移動
3	1	1	1	2	1	2.段階確認															1-1-1-2 に移動
3	1	1	1	3	1	3.中間検査															1-1-1-2 に移動
3	1	1	2	0	1	3-1-1-2 請負代金内訳書及び工事費構成書	3	1	1	2	0	1	3-1-1-1 請負代金内訳書	3	1	1	2	0	1	3-1-1-1 請負代金内訳書	修正
3	1	1	2	1	1	1.請負代金内訳書	3	1	1	2	1	1	1.請負代金内訳書	3	1	1	2	1	1	1.請負代金内訳書	受注者は、契約書第3条に請負代金内訳書(以下「内訳書」という。)

鳥取県土木工事共通仕様書 新旧対照表

現行 (令和3年版)					改定後 (令和6年版)					改定理由	
編	章	節	条	項以下	編	章	節	条	項以下		
3	1	1	2	1		3	1	1	2	1	
3	1	1	3	0	1	3	1	1	2	0	1
3	1	1	3	0	2	3	1	1	2	0	2
3	1	1	4	0	1						
3	1	1	4	1	1						
3	1	1	4	1	2						
3	1	1	5	0	1	3	1	1	3	0	1
3	1	1	5	1	1	3	1	1	3	1	1
3	1	1	5	2	1	3	1	1	3	2	1
3	1	1	5	3	1	3	1	1	3	3	1
3	1	1	5	3	2	3	1	1	3	3	2
3	1	1	5	4	1	3	1	1	3	4	1
3	1	1	5	5	1	3	1	1	3	5	1
3	1	1	5	6	1	3	1	1	3	6	1
3	1	1	5	6	2	3	1	1	3	6	2
3	1	1	5	6	3	3	1	1	3	6	3
3	1	1	5	6	4	3	1	1	3	6	4
3	1	1	5	6	5	3	1	1	3	6	5
3	1	1	5	7	1	3	1	1	3	7	1
3	1	1	5	7	2	3	1	1	3	7	2
3	1	1	6	0	1	3	1	1	4	0	1
3	1	1	6	1	1	3	1	1	4	1	1
3	1	1	6	2	1	3	1	1	4	2	1
3	1	1	6	2	2	3	1	1	4	2	2
3	1	1	7	0	1	3	1	1	5	0	1
3	1	1	7	1	1	3	1	1	5	1	1
3	1	1	7	1	2	3	1	1	5	1	2
3	1	1	7	2	1	3	1	1	5	2	1
3	1	1	7	3	1	3	1	1	5	3	1
3	1	1	8	0	1	3	1	1	6	0	1
3	1	1	8	1	1	3	1	1	6	1	1
3	1	1	8	2	1	3	1	1	6	2	1
3	1	1	8	3	1	3	1	1	6	3	1
3	1	1	8	4	1	3	1	1	6	4	1
3	1	1	8	5	1	3	1	1	6	5	1
3	1	1	8	5	2	3	1	1	6	5	2
3	1	1	8	5	3	3	1	1	6	5	3
3	1	1	8	6	1	3	1	1	6	6	1
3	1	1	9	0	1						
3	1	1	9	1	1						
3	1	1	9	2	1						
3	1	1	9	3	1						
3	1	1	9	4	1						
3	1	1	10	0	1						
3	1	1	10	1	1						
3	1	1	10	2	1						
3	1	1	10	3	1						
3	1	1	11	0	1						
3	1	1	11	1	1						
3	1	1	11	2	1						
3	1	1	12	0	1	3	1	1	7	0	1
3	1	1	12	1	1	3	1	1	7	1	1
3	1	1	12	2	1	3	1	1	7	2	1

鳥取県土木工事共通仕様書 新旧対照表

現行 (令和3年版)					改定後 (令和6年版)					改定理由	
編	章	節	条	項以下	編	章	節	条	項以下		
				項以下					項以下		
				編章節条					編章節条		
				(項目見出し)					(項目見出し)		
				現行条文					改定条文		
3	1	1	13	0	1	3	1	1	8	0	1
3	1	1	13	1	1	3	1	1	8	1	1
3	2	2	0	0	3	2	2	0	0	3	2
3	2	2	0	0	7	3	2	2	0	0	7
3	2	2	0	0	14	3	2	2	0	0	14
3	2	2	0	0	16	3	2	2	0	0	16
3	2	2	0	0	17	3	2	2	0	0	17
3	2	2	0	0	18	3	2	2	0	0	18
3	2	2	0	0	19	3	2	2	0	0	19
3	2	2	0	0	20	3	2	2	0	0	20
3	2	2	0	0	28	3	2	2	0	0	28
3	2	2	0	0	33	3	2	2	0	0	33
3	2	2	0	0	35	3	2	2	0	0	35
3	2	2	0	0	41	3	2	2	0	0	41
3	2	2	0	0	47	3	2	2	0	0	47
3	2	3	2	4	8	3	2	3	2	4	8
3	2	3	2	4	9	3	2	3	2	4	9
3	2	3	2	4	10	3	2	3	2	4	10
3	2	3	2	4	11	3	2	3	2	4	11
3	2	3	2	5	3	3	2	3	2	5	3
3	2	3	2	6	25	3	2	3	2	6	25
3	2	3	4	14	1	3	2	3	4	14	1
3	2	3	6	1	1	3	2	3	6	1	1
3	2	3	6	2	1	3	2	3	6	2	1
3	2	3	6	12	1	3	2	3	6	12	1
3	2	3	6	15	1	3	2	3	6	15	1
3	2	3	7	3	1	3	2	3	7	3	1
3	2	3	14	2	4	3	2	3	14	2	4
3	2	3	15	1	1	3	2	3	15	1	1
3	2	3	18	8	1	3	2	3	18	8	1
3	2	3	25	3	4	3	2	3	25	3	4
3	2	4	4	13	2	3	2	4	4	13	2
3	2	4	4	13	3	3	2	4	4	13	3
3	2	4	4	13	4	3	2	4	4	13	4
3	2	4	4	14	1	3	2	4	4	14	1
3	2	4	4	21	3	3	2	4	4	21	3
3	2	4	5	9	1	3	2	4	5	9	1
3	2	4	5	19	1	3	2	4	5	19	1
3	2	4	7	7	1	3	2	4	7	7	1
3	2	4	9	11	3	3	2	4	9	11	3

鳥取県土木工事共通仕様書 新旧対照表

現行 (令和3年版)					改定後 (令和6年版)					改定理由	
編	章	節	条	項	編	章	節	条	項		
3	2	5	3	2	1	3	2	5	3	2	1
3	2	6	6	4	1	3	2	6	6	4	1
3	2	6	7	1	2	3	2	6	7	1	2
3	2	6	7	3	11	3	2	6	7	3	11
3	2	6	7	3	15	3	2	6	7	3	15
3	2	6	7	3	18	3	2	6	7	3	18
3	2	6	7	4	7	3	2	6	7	4	7
3	2	6	7	4	14	3	2	6	7	4	14
3	2	6	11	6	7	3	2	6	11	6	7
3	2	6	11	6	8	3	2	6	11	6	8
3	2	6	11	9	4	3	2	6	11	9	4
3	2	6	11	11	4	3	2	6	11	11	4
3	2	6	12	1	2	3	2	6	12	1	2
3	2	6	12	3	16	3	2	6	12	3	16
3	2	6	12	3	19	3	2	6	12	3	19
3	2	6	12	4	12	3	2	6	12	4	12
3	2	6	12	4	19	3	2	6	12	4	19
3	2	6	12	4	20	3	2	6	12	4	20
3	2	6	12	8	2	3	2	6	12	8	2
3	2	6	12	13	10	3	2	6	12	13	10
3	2	6	16	2	1	3	2	6	16	2	1
3	2	7	5	4	10	3	2	7	5	4	10
3	2	7	5	4	11	3	2	7	5	4	11
3	2	7	5	4	12	3	2	7	5	4	12
3	2	7	6	1	1	3	2	7	6	1	1
3	2	10	1	1	1	3	2	10	1	1	1
3	2	10	15	2	1	3	2	10	15	2	1
3	2	10	16	9	1	3	2	10	16	9	1
3	2	10	16	10	1	3	2	10	16	10	1
3	2	11	2	2	1	3	2	11	2	2	1
3	2	12	2	7	7	3	2	12	2	7	7

鳥取県土木工事共通仕様書 新旧対照表

現行 (令和3年版)					改定後 (令和6年版)					改定理由		
編	章	節	条	項以下	編	章	節	条	項以下			
										月を超えた場合は、抜き取り試験を行って品質を確認し、正常の場合使用することができる。	ついて追記	
3	2	12	3	1	119	3	2	12	3	1	119	誤植
3	2	12	7	1	8	3	2	12	7	1	8	諸基準類の改定にともなう
3	2	14	3	9	1	3	2	14	3	9	1	誤植
3	2	14	4	18	1	3	2	14	4	18	1	誤植
3	2	15	3	3	1	3	2	15	3	3	1	誤植
3	2	15	3	9	1	3	2	15	3	9	1	誤植
3	2	17	3	2	1	3	2	17	3	2	1	修正 「基発0131第1号令和2年1月31日」付の改定にともなう
3	2	17	3	4	1	3	2	17	3	4	1	施工実態を踏まえた規定の追加。
3	2	18	2	1	5	3	2	18	2	1	5	コンクリート標準示方書と用語を統一 (スベーパー)
3	2	18	2	1	6	3	2	18	2	1	6	コンクリート標準示方書と用語を統一 (スベーパー)
6	1	13	3	2	1	6	1	13	3	2	1	コンクリート標準示方書と用語を統一 (スベーパー)
6	3	2	0	2	4	6	3	2	0	2	4	年度更新
6	3	2	0	5	6	6	3	2	0	5	6	年度更新
6	3	2	0	6	7	6	3	2	0	6	7	諸基準類の改定にともなう
6	4	2	0	10	10	6	4	2	0	10	10	諸基準類の改定にともなう
6	4	2	0	11	11	6	4	2	0	11	11	諸基準類の改定にともなう
6	5	1	0	5	1	6	5	1	0	5	1	年度更新
6	5	2	0	5	10	6	5	2	0	5	10	諸基準類の改定にともなう
6	6	2	0	0	6	6	6	2	0	0	6	諸基準類の改定にともなう
6	8	5	2	1	1	6	8	5	2	1	1	施工実態を踏まえた規定の追加
6	8	5	2	3	1	6	8	5	2	3	1	施工実態を踏まえた規定の追加
6	8	6	4	13	1	6	8	6	4	13	1	誤植
6	8	7	2	3	1	6	8	7	2	3	1	誤植
6	9	2	0	1	6	6	9	2	0	1	6	諸基準類の改定にともなう
7	2	4	5	1	1	7	2	4	5	1	1	訂正
8	1	2	0	0	4	8	1	2	0	0	4	誤植
8	1	2	0	0	5	8	1	2	0	0	5	誤植
8	1	8	1	1	1	8	1	8	1	1	1	誤植
8	1	8	4	7	1	8	1	8	4	7	1	誤植
						8	1	8	4	12	1	条文の追加
						8	1	8	4	12	2	条文の追加
8	1	8	4	12	1	8	1	8	4	12	1	
8	3	5	1	0	2	8	3	5	1	0	2	誤植
8	3	6	1	1	1	8	3	6	1	1	1	誤植
9	1	2	0	0	4	9	1	2	0	0	4	誤植
9	1	3	5	1	2	9	1	3	5	1	2	文言追加
9	1	4	6	2	1	9	1	4	6	2	1	JIS名称変更 (ミキサー)
9	1	4	6	3	1	9	1	4	6	3	1	JIS名称変更 (ミキサー)
9	1	4	6	4	1	9	1	4	6	4	1	JIS名称変更 (ミキサー)
9	1	4	6	5	1	9	1	4	6	5	1	JIS名称変更 (ミキサー)
9	1	4	6	5	2	9	1	4	6	5	2	JIS名称変更 (ミキサー)
9	1	4	6	5	3	9	1	4	6	5	3	JIS名称変更 (ミキサー)
9	1	4	6	5	4	9	1	4	6	5	4	JIS名称変更 (ミキサー)
9	1	4	6	6	1	9	1	4	6	6	1	誤植
9	1	4	6	7	1	9	1	4	6	7	1	JIS名称変更 (ミキサー)
9	1	4	6	8	1	9	1	4	6	8	1	JIS名称変更

鳥取県土木工事共通仕様書 新旧対照表

現行 (令和3年版)					改定後 (令和6年版)					改定理由		
編	章	節	条	項以下	編	章	節	条	項以下			
10	7	2	0	18		10	7	2	0	18		
10	7	3	6	3	1	10	7	3	6	3	1	
10	7	3	6	3	2	10	7	3	6	3	2	
10	8	2	0	0	8	10	8	2	0	0	8	
10	8	2	0	0	9	10	8	2	0	0	9	
10	8	2	0	0	13							
10	8	2	0	0	14	10	8	2	0	0	13	
10	8	2	0	0	15	10	8	2	0	0	14	
10	8	2	0	0	16	10	8	2	0	0	15	
10	8	2	0	0	17	10	8	2	0	0	16	
10	8	2	0	0	18	10	8	2	0	0	17	
10	8	2	0	0	19	10	8	2	0	0	18	
10	8	2	0	0	20	10	8	2	0	0	19	
10	8	2	0	0	21	10	8	2	0	0	20	
10	8	2	0	0	22	10	8	2	0	0	21	
10	8	2	0	0	23	10	8	2	0	0	22	
10	8	2	0	0	24	10	8	2	0	0	23	
10	8	2	0	0	25	10	8	2	0	0	24	
10	8	5	6	4	1	10	8	5	6	4	1	
10	9	2	0	0	5	10	9	2	0	0	5	
10	10	2	0	0	6	10	10	2	0	0	6	
10	11	2	0	0	5							
10	11	2	0	0	6	10	11	2	0	0	5	
10	12	2	0	0	4							
10	12	5	2	2	1	10	12	5	2	2	1	
10	13	2	0	0	4							
10	14	2	0	0	8	10	14	2	0	0	8	
10	14	7	2	6	1	10	14	7	2	6	1	
10	14	14	4	6	1	10	14	14	4	6	1	
10	15	2	0	0	4	10	15	2	0	0	4	
						10	15	3	1	4	1	
10	15	3	1	4	1	10	15	3	1	5	1	
10	15	3	1	5	1	10	15	3	1	6	1	
10	15	3	1	6	1	10	15	3	1	7	1	
						10	15	3	1	8	1	
10	15	3	1	7	1	10	15	3	1	9	1	
10	15	3	1	8	1	10	15	3	1	10	1	
10	15	3	1	9	1	10	15	3	1	11	1	
10	15	3	5	4	1	10	15	3	5	4	1	
10	16	9	2	6	1	10	16	9	2	6	1	
10	16	24	4	29	1	10	16	24	4	29	1	

現行 (令和3年版)	改定後 (令和6年版)	改定理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
<p>図1-1-2 表示板の例</p> <p>図1-1-2 表示板の例</p>	<p>図1-1-2 標示板の例</p> <p>図1-1-2 標示板の例</p>	誤植																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
<p>表1-2-1 土及び岩の分類表</p> <p>表1-2-1 土及び岩の分類表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名</th> <th colspan="2">称</th> <th rowspan="2">説</th> <th rowspan="2">明</th> <th rowspan="2">摘</th> <th rowspan="2">要</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">土</td> <td>礫質土</td> <td>礫まじり土</td> <td></td> <td>礫の混入があつて掘削時の能率が低下するもの。</td> <td>礫の多い砂、礫の多い砂質土、礫の多い粘性土</td> <td>礫(G) 礫質土(G F)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">砂質土及び砂</td> <td>砂</td> <td></td> <td>バケット等に山盛り形状になりにくいもの。</td> <td>海岸砂丘の砂マサ土</td> <td>砂(S)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>砂質土(普通土)</td> <td></td> <td>掘削が容易で、バケット等に山盛り形状にし易く空けきの少ないもの。</td> <td>砂質土、マサ土 粒度分布の良い砂 条件の良いローム</td> <td>砂(S) 砂質土(S F) シルト(M)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">粘性土</td> <td>粘性土</td> <td></td> <td>バケット等に附着し易く空けきの多い状態になり易いもの、トラフィカビリティが問題となり易いもの。</td> <td>ローム 粘性土</td> <td>シルト(M) 粘性土(C)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高含水比粘性土</td> <td></td> <td>バケットなどに附着し易く特にトラフィカビリティが悪いもの</td> <td>条件の悪いローム 条件の悪い粘性土 火山灰質粘性土</td> <td>シルト(M) 粘性土(C) 火山灰質粘性土(V) 有機質土(O)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>岩塊</td> <td>岩塊</td> <td>岩塊</td> <td>岩塊、玉石が混入して掘削しにくく、バケット等に空けきのでき易いもの。岩塊、玉石は粒径7.5cm以上とし、まるみのあるものを玉石とする。</td> <td></td> <td>玉石まじり土 岩塊 破碎された岩 ごろごろした河床 第三紀の岩で固結の程度が弱いもの</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名		称		説	明	摘	要	A	B	C		土	礫質土	礫まじり土		礫の混入があつて掘削時の能率が低下するもの。	礫の多い砂、礫の多い砂質土、礫の多い粘性土	礫(G) 礫質土(G F)		砂質土及び砂	砂		バケット等に山盛り形状になりにくいもの。	海岸砂丘の砂マサ土	砂(S)		砂質土(普通土)		掘削が容易で、バケット等に山盛り形状にし易く空けきの少ないもの。	砂質土、マサ土 粒度分布の良い砂 条件の良いローム	砂(S) 砂質土(S F) シルト(M)		粘性土	粘性土		バケット等に附着し易く空けきの多い状態になり易いもの、トラフィカビリティが問題となり易いもの。	ローム 粘性土	シルト(M) 粘性土(C)		高含水比粘性土		バケットなどに附着し易く特にトラフィカビリティが悪いもの	条件の悪いローム 条件の悪い粘性土 火山灰質粘性土	シルト(M) 粘性土(C) 火山灰質粘性土(V) 有機質土(O)		岩塊	岩塊	岩塊	岩塊、玉石が混入して掘削しにくく、バケット等に空けきのでき易いもの。岩塊、玉石は粒径7.5cm以上とし、まるみのあるものを玉石とする。		玉石まじり土 岩塊 破碎された岩 ごろごろした河床 第三紀の岩で固結の程度が弱いもの		<p>表1-2-1 土及び岩の分類表</p> <p>表1-2-1 土及び岩の分類表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名</th> <th colspan="2">称</th> <th rowspan="2">説</th> <th rowspan="2">明</th> <th rowspan="2">摘</th> <th rowspan="2">要</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">土</td> <td>礫質土</td> <td>礫まじり土</td> <td></td> <td>礫の混入があつて掘削時の能率が低下するもの。</td> <td>礫の多い砂、礫の多い砂質土、礫の多い粘性土</td> <td>礫(G) 礫質土(G F)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">砂質土及び砂</td> <td>砂</td> <td></td> <td>バケット等に山盛り形状になりにくいもの。</td> <td>海岸砂丘の砂マサ土</td> <td>砂(S)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>砂質土(普通土)</td> <td></td> <td>掘削が容易で、バケット等に山盛り形状にし易く空けきの少ないもの。</td> <td>砂質土、マサ土 粒度分布の良い砂 条件の良いローム</td> <td>砂(S) 砂質土(S F) シルト(M)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">粘性土</td> <td>粘性土</td> <td></td> <td>バケット等に附着し易く空隙の多い状態になり易いもの、トラフィカビリティが問題となり易いもの。</td> <td>ローム 粘性土</td> <td>シルト(M) 粘性土(C)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高含水比粘性土</td> <td></td> <td>バケットなどに附着し易く特にトラフィカビリティが悪いもの</td> <td>条件の悪いローム 条件の悪い粘性土 火山灰質粘性土</td> <td>シルト(M) 粘性土(C) 火山灰質粘性土(V) 有機質土(O)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>岩塊</td> <td>岩塊</td> <td>岩塊</td> <td>岩塊、玉石が混入して掘削しにくく、バケット等に空けきのでき易いもの。岩塊、玉石は粒径7.5cm以上とし、まるみのあるものを玉石とする。</td> <td></td> <td>玉石まじり土 岩塊 破碎された岩 ごろごろした河床 第三紀の岩で固結の程度が弱いもの</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名		称		説	明	摘	要	A	B	C		土	礫質土	礫まじり土		礫の混入があつて掘削時の能率が低下するもの。	礫の多い砂、礫の多い砂質土、礫の多い粘性土	礫(G) 礫質土(G F)		砂質土及び砂	砂		バケット等に山盛り形状になりにくいもの。	海岸砂丘の砂マサ土	砂(S)		砂質土(普通土)		掘削が容易で、バケット等に山盛り形状にし易く空けきの少ないもの。	砂質土、マサ土 粒度分布の良い砂 条件の良いローム	砂(S) 砂質土(S F) シルト(M)		粘性土	粘性土		バケット等に附着し易く空隙の多い状態になり易いもの、トラフィカビリティが問題となり易いもの。	ローム 粘性土	シルト(M) 粘性土(C)		高含水比粘性土		バケットなどに附着し易く特にトラフィカビリティが悪いもの	条件の悪いローム 条件の悪い粘性土 火山灰質粘性土	シルト(M) 粘性土(C) 火山灰質粘性土(V) 有機質土(O)		岩塊	岩塊	岩塊	岩塊、玉石が混入して掘削しにくく、バケット等に空けきのでき易いもの。岩塊、玉石は粒径7.5cm以上とし、まるみのあるものを玉石とする。		玉石まじり土 岩塊 破碎された岩 ごろごろした河床 第三紀の岩で固結の程度が弱いもの		誤字																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
名		称		説					明	摘	要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
A	B	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
土	礫質土	礫まじり土		礫の混入があつて掘削時の能率が低下するもの。	礫の多い砂、礫の多い砂質土、礫の多い粘性土	礫(G) 礫質土(G F)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	砂質土及び砂	砂		バケット等に山盛り形状になりにくいもの。	海岸砂丘の砂マサ土	砂(S)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		砂質土(普通土)		掘削が容易で、バケット等に山盛り形状にし易く空けきの少ないもの。	砂質土、マサ土 粒度分布の良い砂 条件の良いローム	砂(S) 砂質土(S F) シルト(M)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	粘性土	粘性土		バケット等に附着し易く空けきの多い状態になり易いもの、トラフィカビリティが問題となり易いもの。	ローム 粘性土	シルト(M) 粘性土(C)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
高含水比粘性土			バケットなどに附着し易く特にトラフィカビリティが悪いもの	条件の悪いローム 条件の悪い粘性土 火山灰質粘性土	シルト(M) 粘性土(C) 火山灰質粘性土(V) 有機質土(O)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
岩塊	岩塊	岩塊	岩塊、玉石が混入して掘削しにくく、バケット等に空けきのでき易いもの。岩塊、玉石は粒径7.5cm以上とし、まるみのあるものを玉石とする。		玉石まじり土 岩塊 破碎された岩 ごろごろした河床 第三紀の岩で固結の程度が弱いもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
名		称		説	明	摘	要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
A	B	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
土	礫質土	礫まじり土		礫の混入があつて掘削時の能率が低下するもの。	礫の多い砂、礫の多い砂質土、礫の多い粘性土	礫(G) 礫質土(G F)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	砂質土及び砂	砂		バケット等に山盛り形状になりにくいもの。	海岸砂丘の砂マサ土	砂(S)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		砂質土(普通土)		掘削が容易で、バケット等に山盛り形状にし易く空けきの少ないもの。	砂質土、マサ土 粒度分布の良い砂 条件の良いローム	砂(S) 砂質土(S F) シルト(M)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	粘性土	粘性土		バケット等に附着し易く空隙の多い状態になり易いもの、トラフィカビリティが問題となり易いもの。	ローム 粘性土	シルト(M) 粘性土(C)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
高含水比粘性土			バケットなどに附着し易く特にトラフィカビリティが悪いもの	条件の悪いローム 条件の悪い粘性土 火山灰質粘性土	シルト(M) 粘性土(C) 火山灰質粘性土(V) 有機質土(O)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
岩塊	岩塊	岩塊	岩塊、玉石が混入して掘削しにくく、バケット等に空けきのでき易いもの。岩塊、玉石は粒径7.5cm以上とし、まるみのあるものを玉石とする。		玉石まじり土 岩塊 破碎された岩 ごろごろした河床 第三紀の岩で固結の程度が弱いもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
<p>表1-2-3 伐開除根作業</p> <p>表1-2-3 伐開除根作業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="4">種 別</th> </tr> <tr> <th>雑草・ささ類</th> <th>倒木</th> <th>古 根 株</th> <th>立木</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>盛土高1mを越える場合</td> <td>地面で刈り取る</td> <td>除去</td> <td>根元で切り取る</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>盛土高1m以下の場合</td> <td>根からすき取る</td> <td>〃</td> <td>抜根除去</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	種 別				雑草・ささ類	倒木	古 根 株	立木	盛土高1mを越える場合	地面で刈り取る	除去	根元で切り取る	同左	盛土高1m以下の場合	根からすき取る	〃	抜根除去	〃	<p>表1-2-3 伐開除根作業</p> <p>表1-2-3 伐開除根作業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="4">種 別</th> </tr> <tr> <th>雑草・ささ類</th> <th>倒木</th> <th>古 根 株</th> <th>立木</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>盛土高1mを越える場合</td> <td>地面で刈り取る</td> <td>除去</td> <td>抜根除去</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>盛土高1m以下の場合</td> <td>根からすき取る</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	種 別				雑草・ささ類	倒木	古 根 株	立木	盛土高1mを越える場合	地面で刈り取る	除去	抜根除去	同左	盛土高1m以下の場合	根からすき取る				道路土工盛土工指針 5-2基礎地盤の処理との整合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
区 分		種 別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	雑草・ささ類	倒木	古 根 株	立木																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
盛土高1mを越える場合	地面で刈り取る	除去	根元で切り取る	同左																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
盛土高1m以下の場合	根からすき取る	〃	抜根除去	〃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
区 分	種 別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	雑草・ささ類	倒木	古 根 株	立木																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
盛土高1mを越える場合	地面で刈り取る	除去	抜根除去	同左																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
盛土高1m以下の場合	根からすき取る																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
<p>表2-2-3 碎石の粒度</p> <p>表2-2-3 碎石の粒度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">呼び名</th> <th colspan="15">ふるいを通るものの質量分率 (%)</th> </tr> <tr> <th>100mm</th> <th>75mm</th> <th>63mm</th> <th>53mm</th> <th>37.5mm</th> <th>31.5mm</th> <th>26.5mm</th> <th>19mm</th> <th>13.2mm</th> <th>4.75mm</th> <th>2.36mm</th> <th>1.18mm</th> <th>425µm</th> <th>75µm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単粒面整砕石</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-80(1号)</td> <td>80~60</td> <td>100</td> <td>85~100</td> <td>0~15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-60(2号)</td> <td>60~40</td> <td>100</td> <td>85~100</td> <td>0~15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-40(3号)</td> <td>40~30</td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>85~100</td> <td>0~15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-30(4号)</td> <td>30~20</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>85~100</td> <td>0~15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-20(5号)</td> <td>20~13</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>85~100</td> <td>0~15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-13(6号)</td> <td>13~5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>85~100</td> <td>0~15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-5(7号)</td> <td>5~2.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>85~100</td> <td>0~25</td> <td>0~5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>粒面調整砕石</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>M-40</td> <td>40~0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>95~100</td> <td>—</td> <td>60~90</td> <td>—</td> <td>30~65</td> <td>20~50</td> <td>—</td> <td>10~30</td> <td>2~10</td> </tr> <tr> <td>M-30</td> <td>30~0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>95~100</td> <td>60~90</td> <td>—</td> <td>30~65</td> <td>20~50</td> <td>—</td> <td>10~30</td> <td>2~10</td> </tr> <tr> <td>M-25</td> <td>25~0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>95~100</td> <td>—</td> <td>65~85</td> <td>30~65</td> <td>—</td> <td>10~30</td> <td>2~10</td> </tr> <tr> <td>クラッシュサン</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C-40</td> <td>40~0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>95~100</td> <td>—</td> <td>50~80</td> <td>—</td> <td>15~40</td> <td>5~25</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C-30</td> <td>30~0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>95~100</td> <td>55~85</td> <td>—</td> <td>15~45</td> <td>5~30</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C-20</td> <td>20~0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>95~100</td> <td>60~90</td> <td>20~50</td> <td>10~35</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	呼び名	ふるいを通るものの質量分率 (%)															100mm	75mm	63mm	53mm	37.5mm	31.5mm	26.5mm	19mm	13.2mm	4.75mm	2.36mm	1.18mm	425µm	75µm	単粒面整砕石															S-80(1号)	80~60	100	85~100	0~15											S-60(2号)	60~40	100	85~100	0~15											S-40(3号)	40~30			100	85~100	0~15									S-30(4号)	30~20				100	85~100	0~15								S-20(5号)	20~13					100	85~100	0~15							S-13(6号)	13~5						100	85~100	0~15						S-5(7号)	5~2.5							100	85~100	0~25	0~5				粒面調整砕石															M-40	40~0				100	95~100	—	60~90	—	30~65	20~50	—	10~30	2~10	M-30	30~0					100	95~100	60~90	—	30~65	20~50	—	10~30	2~10	M-25	25~0						100	95~100	—	65~85	30~65	—	10~30	2~10	クラッシュサン															C-40	40~0				100	95~100	—	50~80	—	15~40	5~25				C-30	30~0					100	95~100	55~85	—	15~45	5~30				C-20	20~0							95~100	60~90	20~50	10~35				<p>表2-2-3 碎石の粒度</p> <p>表2-2-3 碎石の粒度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">呼び名</th> <th colspan="15">ふるいを通るものの質量分率 (%)</th> </tr> <tr> <th>100mm</th> <th>75mm</th> <th>63mm</th> <th>53mm</th> <th>37.5mm</th> <th>31.5mm</th> <th>26.5mm</th> <th>19mm</th> <th>13.2mm</th> <th>4.75mm</th> <th>2.36mm</th> <th>1.18mm</th> <th>425µm</th> <th>75µm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単粒面整砕石</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-80(1号)</td> <td>80~60</td> <td>100</td> <td>85~100</td> <td>0~15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-60(2号)</td> <td>60~40</td> <td>100</td> <td>85~100</td> <td>0~15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-40(3号)</td> <td>40~30</td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>85~100</td> <td>0~15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-30(4号)</td> <td>30~20</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>85~100</td> <td>0~15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-20(5号)</td> <td>20~13</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>85~100</td> <td>0~15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-13(6号)</td> <td>13~5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>85~100</td> <td>0~15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-5(7号)</td> <td>5~2.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>85~100</td> <td>0~25</td> <td>0~5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>粒面調整砕石</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>M-40</td> <td>40~0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>95~100</td> <td>—</td> <td>60~90</td> <td>—</td> <td>30~65</td> <td>20~50</td> <td>—</td> <td>10~30</td> <td>2~10</td> </tr> <tr> <td>M-30</td> <td>30~0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>95~100</td> <td>60~90</td> <td>—</td> <td>30~65</td> <td>20~50</td> <td>—</td> <td>10~30</td> <td>2~10</td> </tr> <tr> <td>M-25</td> <td>25~0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>95~100</td> <td>—</td> <td>65~85</td> <td>30~65</td> <td>—</td> <td>10~30</td> <td>2~10</td> </tr> <tr> <td>クラッシュサン</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C-40</td> <td>40~0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>95~100</td> <td>—</td> <td>50~80</td> <td>—</td> <td>15~40</td> <td>5~25</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C-30</td> <td>30~0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>95~100</td> <td>55~85</td> <td>—</td> <td>15~45</td> <td>5~30</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C-20</td> <td>20~0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>95~100</td> <td>60~90</td> <td>20~50</td> <td>10~35</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	呼び名	ふるいを通るものの質量分率 (%)															100mm	75mm	63mm	53mm	37.5mm	31.5mm	26.5mm	19mm	13.2mm	4.75mm	2.36mm	1.18mm	425µm	75µm	単粒面整砕石															S-80(1号)	80~60	100	85~100	0~15											S-60(2号)	60~40	100	85~100	0~15											S-40(3号)	40~30			100	85~100	0~15									S-30(4号)	30~20				100	85~100	0~15								S-20(5号)	20~13					100	85~100	0~15							S-13(6号)	13~5						100	85~100	0~15						S-5(7号)	5~2.5							100	85~100	0~25	0~5				粒面調整砕石															M-40	40~0				100	95~100	—	60~90	—	30~65	20~50	—	10~30	2~10	M-30	30~0					100	95~100	60~90	—	30~65	20~50	—	10~30	2~10	M-25	25~0						100	95~100	—	65~85	30~65	—	10~30	2~10	クラッシュサン															C-40	40~0				100	95~100	—	50~80	—	15~40	5~25				C-30	30~0					100	95~100	55~85	—	15~45	5~30				C-20	20~0							95~100	60~90	20~50	10~35				
呼び名		ふるいを通るものの質量分率 (%)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	100mm	75mm	63mm	53mm	37.5mm	31.5mm	26.5mm	19mm	13.2mm	4.75mm	2.36mm	1.18mm	425µm	75µm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
単粒面整砕石																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
S-80(1号)	80~60	100	85~100	0~15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
S-60(2号)	60~40	100	85~100	0~15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
S-40(3号)	40~30			100	85~100	0~15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
S-30(4号)	30~20				100	85~100	0~15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
S-20(5号)	20~13					100	85~100	0~15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
S-13(6号)	13~5						100	85~100	0~15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
S-5(7号)	5~2.5							100	85~100	0~25	0~5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
粒面調整砕石																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
M-40	40~0				100	95~100	—	60~90	—	30~65	20~50	—	10~30	2~10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
M-30	30~0					100	95~100	60~90	—	30~65	20~50	—	10~30	2~10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
M-25	25~0						100	95~100	—	65~85	30~65	—	10~30	2~10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
クラッシュサン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
C-40	40~0				100	95~100	—	50~80	—	15~40	5~25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
C-30	30~0					100	95~100	55~85	—	15~45	5~30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
C-20	20~0							95~100	60~90	20~50	10~35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
呼び名	ふるいを通るものの質量分率 (%)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	100mm	75mm	63mm	53mm	37.5mm	31.5mm	26.5mm	19mm	13.2mm	4.75mm	2.36mm	1.18mm	425µm	75µm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
単粒面整砕石																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
S-80(1号)	80~60	100	85~100	0~15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
S-60(2号)	60~40	100	85~100	0~15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
S-40(3号)	40~30			100	85~100	0~15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
S-30(4号)	30~20				100	85~100	0~15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
S-20(5号)	20~13					100	85~100	0~15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
S-13(6号)	13~5						100	85~100	0~15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
S-5(7号)	5~2.5							100	85~100	0~25	0~5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
粒面調整砕石																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
M-40	40~0				100	95~100	—	60~90	—	30~65	20~50	—	10~30	2~10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
M-30	30~0					100	95~100	60~90	—	30~65	20~50	—	10~30	2~10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
M-25	25~0						100	95~100	—	65~85	30~65	—	10~30	2~10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
クラッシュサン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
C-40	40~0				100	95~100	—	50~80	—	15~40	5~25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
C-30	30~0					100	95~100	55~85	—	15~45	5~30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
C-20	20~0							95~100	60~90	20~50	10~35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

現行 (令和3年版)	改定後 (令和6年版)	改定理由																																																																																																																																
<p>表2-2-26 再生用添加剤の標準的性状</p> <p style="text-align: center;">表2-2-26 再生用添加剤の標準的性状</p> <p>プラント再生用</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>標準的性状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>動粘度 (60℃) mm²/S</td> <td>80~1,000</td> </tr> <tr> <td>引火点 ℃</td> <td>250以上</td> </tr> <tr> <td>薄膜加熱後の粘度比 (60℃)</td> <td>2以下</td> </tr> <tr> <td>薄膜加熱質量変化率 %</td> <td>±3以内</td> </tr> <tr> <td>密度 (15℃) g/cm³</td> <td>報告</td> </tr> <tr> <td>組成 (石油学会法JPI-5S-70-10)</td> <td>報告</td> </tr> </tbody> </table> <p>[注] 密度は、旧アスファルトとの分離などを防止するため0.95g/cm³とすることが望ましい。</p>	項目	標準的性状	動粘度 (60℃) mm ² /S	80~1,000	引火点 ℃	250以上	薄膜加熱後の粘度比 (60℃)	2以下	薄膜加熱質量変化率 %	±3以内	密度 (15℃) g/cm ³	報告	組成 (石油学会法JPI-5S-70-10)	報告	<p>表2-2-26 再生用添加剤の標準的性状</p> <p style="text-align: center;">表2-2-26 再生用添加剤の標準的性状</p> <p>プラント再生用</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>標準的性状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>動粘度 (60℃) mm²/S</td> <td>80~1,000</td> </tr> <tr> <td>引火点 ℃</td> <td>250以上</td> </tr> <tr> <td>薄膜加熱後の粘度比 (60℃)</td> <td>2以下</td> </tr> <tr> <td>薄膜加熱質量変化率 %</td> <td>±3以内</td> </tr> <tr> <td>密度 (15℃) g/cm³</td> <td>報告</td> </tr> <tr> <td>組成 (石油学会規格JPI-5S-70-10)</td> <td>報告</td> </tr> </tbody> </table> <p>[注] 密度は、旧アスファルトとの分離などを防止するため0.95g/cm³以上とすることが望ましい。</p>	項目	標準的性状	動粘度 (60℃) mm ² /S	80~1,000	引火点 ℃	250以上	薄膜加熱後の粘度比 (60℃)	2以下	薄膜加熱質量変化率 %	±3以内	密度 (15℃) g/cm ³	報告	組成 (石油学会規格JPI-5S-70-10)	報告	修正																																																																																																				
項目	標準的性状																																																																																																																																	
動粘度 (60℃) mm ² /S	80~1,000																																																																																																																																	
引火点 ℃	250以上																																																																																																																																	
薄膜加熱後の粘度比 (60℃)	2以下																																																																																																																																	
薄膜加熱質量変化率 %	±3以内																																																																																																																																	
密度 (15℃) g/cm ³	報告																																																																																																																																	
組成 (石油学会法JPI-5S-70-10)	報告																																																																																																																																	
項目	標準的性状																																																																																																																																	
動粘度 (60℃) mm ² /S	80~1,000																																																																																																																																	
引火点 ℃	250以上																																																																																																																																	
薄膜加熱後の粘度比 (60℃)	2以下																																																																																																																																	
薄膜加熱質量変化率 %	±3以内																																																																																																																																	
密度 (15℃) g/cm ³	報告																																																																																																																																	
組成 (石油学会規格JPI-5S-70-10)	報告																																																																																																																																	
<p>表2-2-27 封入レンズ型反射シートの反射性能</p> <p style="text-align: center;">表2-2-27 封入レンズ型反射シートの反射性能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>観測角°</th> <th>入射角°</th> <th>白</th> <th>黄</th> <th>赤</th> <th>青</th> <th>緑</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">12' (0.2°)</td> <td>5°</td> <td>70</td> <td>50</td> <td>15</td> <td>4.0</td> <td>9.0</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>30</td> <td>22</td> <td>6.0</td> <td>1.7</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>40°</td> <td>10</td> <td>7.0</td> <td>2.0</td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">20' (0.33°)</td> <td>5°</td> <td>50</td> <td>35</td> <td>10</td> <td>2.0</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>24</td> <td>16</td> <td>4.0</td> <td>1.0</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>40°</td> <td>9.0</td> <td>6.0</td> <td>1.8</td> <td>0.4</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2°</td> <td>5°</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> <td>0.8</td> <td>0.2</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>2.5</td> <td>1.5</td> <td>0.4</td> <td>0.1</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>40°</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>0.3</td> <td>0.06</td> <td>0.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>[注] 試験及び測定方法は、JIS Z 9117 (再帰性反射材)による。</p>	観測角°	入射角°	白	黄	赤	青	緑	12' (0.2°)	5°	70	50	15	4.0	9.0	30°	30	22	6.0	1.7	3.5	40°	10	7.0	2.0	0.5	1.5	20' (0.33°)	5°	50	35	10	2.0	7.0	30°	24	16	4.0	1.0	3.0	40°	9.0	6.0	1.8	0.4	1.2	2°	5°	5.0	3.0	0.8	0.2	0.6	30°	2.5	1.5	0.4	0.1	0.3	40°	1.5	1.0	0.3	0.06	0.2	<p>表2-2-27 封入レンズ型反射シートの反射性能</p> <p style="text-align: center;">表2-2-27 封入レンズ型反射シートの反射性能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>観測角°</th> <th>入射角°</th> <th>白</th> <th>黄</th> <th>赤</th> <th>青</th> <th>緑</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">12' (0.2°)</td> <td>5°</td> <td>70</td> <td>50</td> <td>15</td> <td>4.0</td> <td>9.0</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>30</td> <td>22</td> <td>6.0</td> <td>1.7</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>40°</td> <td>10</td> <td>7.0</td> <td>2.0</td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">20' (0.33°)</td> <td>5°</td> <td>50</td> <td>35</td> <td>10</td> <td>2.0</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>24</td> <td>16</td> <td>4.0</td> <td>1.0</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>40°</td> <td>9.0</td> <td>6.0</td> <td>1.8</td> <td>0.4</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2.0°</td> <td>5°</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> <td>0.8</td> <td>0.2</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>2.5</td> <td>1.5</td> <td>0.4</td> <td>0.1</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>40°</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>0.3</td> <td>0.06</td> <td>0.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>[注] 試験及び測定方法は、JIS Z 9117 (再帰性反射材)による。</p>	観測角°	入射角°	白	黄	赤	青	緑	12' (0.2°)	5°	70	50	15	4.0	9.0	30°	30	22	6.0	1.7	3.5	40°	10	7.0	2.0	0.5	1.5	20' (0.33°)	5°	50	35	10	2.0	7.0	30°	24	16	4.0	1.0	3.0	40°	9.0	6.0	1.8	0.4	1.2	2.0°	5°	5.0	3.0	0.8	0.2	0.6	30°	2.5	1.5	0.4	0.1	0.3	40°	1.5	1.0	0.3	0.06	0.2	
観測角°	入射角°	白	黄	赤	青	緑																																																																																																																												
12' (0.2°)	5°	70	50	15	4.0	9.0																																																																																																																												
	30°	30	22	6.0	1.7	3.5																																																																																																																												
	40°	10	7.0	2.0	0.5	1.5																																																																																																																												
20' (0.33°)	5°	50	35	10	2.0	7.0																																																																																																																												
	30°	24	16	4.0	1.0	3.0																																																																																																																												
	40°	9.0	6.0	1.8	0.4	1.2																																																																																																																												
2°	5°	5.0	3.0	0.8	0.2	0.6																																																																																																																												
	30°	2.5	1.5	0.4	0.1	0.3																																																																																																																												
	40°	1.5	1.0	0.3	0.06	0.2																																																																																																																												
観測角°	入射角°	白	黄	赤	青	緑																																																																																																																												
12' (0.2°)	5°	70	50	15	4.0	9.0																																																																																																																												
	30°	30	22	6.0	1.7	3.5																																																																																																																												
	40°	10	7.0	2.0	0.5	1.5																																																																																																																												
20' (0.33°)	5°	50	35	10	2.0	7.0																																																																																																																												
	30°	24	16	4.0	1.0	3.0																																																																																																																												
	40°	9.0	6.0	1.8	0.4	1.2																																																																																																																												
2.0°	5°	5.0	3.0	0.8	0.2	0.6																																																																																																																												
	30°	2.5	1.5	0.4	0.1	0.3																																																																																																																												
	40°	1.5	1.0	0.3	0.06	0.2																																																																																																																												
<p>表2-2-28 カプセルレンズ型反射シートの反射性能</p> <p style="text-align: center;">表2-2-28 カプセルレンズ型反射シートの反射性能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>観測角°</th> <th>入射角°</th> <th>白</th> <th>黄</th> <th>赤</th> <th>青</th> <th>緑</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">12' (0.2°)</td> <td>5°</td> <td>250</td> <td>170</td> <td>45</td> <td>20</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>150</td> <td>100</td> <td>25</td> <td>11</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>40°</td> <td>110</td> <td>70</td> <td>16</td> <td>8.0</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">20' (0.33°)</td> <td>5°</td> <td>180</td> <td>122</td> <td>25</td> <td>14</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>100</td> <td>57</td> <td>14</td> <td>7.0</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>40°</td> <td>95</td> <td>54</td> <td>13</td> <td>7.0</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2°</td> <td>5°</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> <td>0.8</td> <td>0.2</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>2.5</td> <td>1.5</td> <td>0.4</td> <td>0.1</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>40°</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>0.3</td> <td>0.06</td> <td>0.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>[注] 試験及び測定方法は、JIS Z 9117 (再帰性反射材)による。</p>	観測角°	入射角°	白	黄	赤	青	緑	12' (0.2°)	5°	250	170	45	20	45	30°	150	100	25	11	25	40°	110	70	16	8.0	16	20' (0.33°)	5°	180	122	25	14	21	30°	100	57	14	7.0	11	40°	95	54	13	7.0	11	2°	5°	5.0	3.0	0.8	0.2	0.6	30°	2.5	1.5	0.4	0.1	0.3	40°	1.5	1.0	0.3	0.06	0.2	<p>表2-2-28 カプセルレンズ型反射シートの反射性能</p> <p style="text-align: center;">表2-2-28 カプセルレンズ型反射シートの反射性能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>観測角°</th> <th>入射角°</th> <th>白</th> <th>黄</th> <th>赤</th> <th>青</th> <th>緑</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">12' (0.2°)</td> <td>5°</td> <td>250</td> <td>170</td> <td>45</td> <td>20</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>150</td> <td>100</td> <td>25</td> <td>11</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>40°</td> <td>110</td> <td>70</td> <td>16</td> <td>8.0</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">20' (0.33°)</td> <td>5°</td> <td>180</td> <td>122</td> <td>25</td> <td>14</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>100</td> <td>67</td> <td>14</td> <td>7.0</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>40°</td> <td>95</td> <td>64</td> <td>13</td> <td>7.0</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2.0°</td> <td>5°</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> <td>0.8</td> <td>0.2</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>2.5</td> <td>1.5</td> <td>0.4</td> <td>0.1</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>40°</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>0.3</td> <td>0.06</td> <td>0.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>[注] 試験及び測定方法は、JIS Z 9117 (再帰性反射材)による。</p>	観測角°	入射角°	白	黄	赤	青	緑	12' (0.2°)	5°	250	170	45	20	45	30°	150	100	25	11	25	40°	110	70	16	8.0	16	20' (0.33°)	5°	180	122	25	14	21	30°	100	67	14	7.0	11	40°	95	64	13	7.0	11	2.0°	5°	5.0	3.0	0.8	0.2	0.6	30°	2.5	1.5	0.4	0.1	0.3	40°	1.5	1.0	0.3	0.06	0.2	
観測角°	入射角°	白	黄	赤	青	緑																																																																																																																												
12' (0.2°)	5°	250	170	45	20	45																																																																																																																												
	30°	150	100	25	11	25																																																																																																																												
	40°	110	70	16	8.0	16																																																																																																																												
20' (0.33°)	5°	180	122	25	14	21																																																																																																																												
	30°	100	57	14	7.0	11																																																																																																																												
	40°	95	54	13	7.0	11																																																																																																																												
2°	5°	5.0	3.0	0.8	0.2	0.6																																																																																																																												
	30°	2.5	1.5	0.4	0.1	0.3																																																																																																																												
	40°	1.5	1.0	0.3	0.06	0.2																																																																																																																												
観測角°	入射角°	白	黄	赤	青	緑																																																																																																																												
12' (0.2°)	5°	250	170	45	20	45																																																																																																																												
	30°	150	100	25	11	25																																																																																																																												
	40°	110	70	16	8.0	16																																																																																																																												
20' (0.33°)	5°	180	122	25	14	21																																																																																																																												
	30°	100	67	14	7.0	11																																																																																																																												
	40°	95	64	13	7.0	11																																																																																																																												
2.0°	5°	5.0	3.0	0.8	0.2	0.6																																																																																																																												
	30°	2.5	1.5	0.4	0.1	0.3																																																																																																																												
	40°	1.5	1.0	0.3	0.06	0.2																																																																																																																												
<p>図3-2-2 銘板の寸法及び記載事項</p> <p style="text-align: center;">図3-2-2 銘板の寸法及び記載事項</p>	<p>図3-2-2 銘板の寸法及び記載事項</p> <p style="text-align: center;">図3-2-2 銘板の寸法及び記載事項</p>	銘板内の文字修正																																																																																																																																
<p>表3-2-10 要求性能の確認方法</p> <p style="text-align: center;">表3-2-10 要求性能の確認方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">要求性能</th> <th colspan="3">確認方法</th> </tr> <tr> <th>試験方法</th> <th>試験条件</th> <th>基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>線材に要求される性能</td> <td>母材の健全性 母材が健全であること</td> <td>JIS H 0401 の間接法で使用する試験液によるメッキ溶解後の母材鉄線の写真撮影</td> <td>メッキを剥いだ状態での母材鉄線の表面撮影</td> <td>母材に傷が付いていないこと</td> </tr> </tbody> </table>	項目	要求性能	確認方法			試験方法	試験条件	基準値	線材に要求される性能	母材の健全性 母材が健全であること	JIS H 0401 の間接法で使用する試験液によるメッキ溶解後の母材鉄線の写真撮影	メッキを剥いだ状態での母材鉄線の表面撮影	母材に傷が付いていないこと	<p>表3-2-10 要求性能の確認方法</p> <p style="text-align: center;">表3-2-10 要求性能の確認方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">要求性能</th> <th colspan="3">確認方法</th> </tr> <tr> <th>試験方法</th> <th>試験条件</th> <th>基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>線材に要求される性能</td> <td>母材の健全性 母材が健全であること</td> <td>JIS G 3547 の間接法で使用する試験液によるメッキ溶解後の母材鉄線の写真撮影</td> <td>メッキを剥いだ状態での母材鉄線の表面撮影</td> <td>母材に傷が付いていないこと</td> </tr> </tbody> </table>	項目	要求性能	確認方法			試験方法	試験条件	基準値	線材に要求される性能	母材の健全性 母材が健全であること	JIS G 3547 の間接法で使用する試験液によるメッキ溶解後の母材鉄線の写真撮影	メッキを剥いだ状態での母材鉄線の表面撮影	母材に傷が付いていないこと	JISの改正																																																																																																						
項目			要求性能	確認方法																																																																																																																														
	試験方法	試験条件		基準値																																																																																																																														
線材に要求される性能	母材の健全性 母材が健全であること	JIS H 0401 の間接法で使用する試験液によるメッキ溶解後の母材鉄線の写真撮影	メッキを剥いだ状態での母材鉄線の表面撮影	母材に傷が付いていないこと																																																																																																																														
項目	要求性能	確認方法																																																																																																																																
		試験方法	試験条件	基準値																																																																																																																														
線材に要求される性能	母材の健全性 母材が健全であること	JIS G 3547 の間接法で使用する試験液によるメッキ溶解後の母材鉄線の写真撮影	メッキを剥いだ状態での母材鉄線の表面撮影	母材に傷が付いていないこと																																																																																																																														

現行 (令和3年版)		改定後 (令和6年版)		改定理由																																																																																																														
表3-2-12 線材の品質管理試験の内容		表3-2-12 線材の品質管理試験の内容		JISの改正																																																																																																														
<p>表3-2-12 線材の品質管理試験の内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目 試験箇所</th> <th>試験項目</th> <th>基準値</th> <th>試験方法</th> <th>試験の頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">工場</td> <td>線径</td> <td>$\begin{matrix} 3.2 \pm 0.09\text{mm} \\ 4.0 \pm 0.10\text{mm} \\ 5.0 \pm 0.12\text{mm} \\ 6.0 \pm 0.12\text{mm} \end{matrix}$</td> <td>JISG3547準拠</td> <td>5巻線※1に1回</td> </tr> <tr> <td>引張強さ</td> <td>290N/mm²以上</td> <td>JISG3547準拠</td> <td>5巻線に1回</td> </tr> <tr> <td>ねじり特性</td> <td>JISG3547の4.3</td> <td>JISG3547準拠</td> <td>5巻線に1回</td> </tr> <tr> <td>巻付性</td> <td>線径の1.5倍の円筒に6回以上巻き付け著しい亀裂及びはく離を生じない</td> <td>JISG3547準拠</td> <td>5巻線に1回</td> </tr> <tr> <td>メッキ成分</td> <td>※2</td> <td>原子吸光分析法、またはICP発光分析法</td> <td>5巻線に1回</td> </tr> <tr> <td>メッキ付着量</td> <td>※2</td> <td>JISH0401準拠</td> <td>5巻線に1回</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">公的試験機関</td> <td>線径</td> <td>$\begin{matrix} 3.2 \pm 0.09\text{mm} \\ 4.0 \pm 0.10\text{mm} \\ 5.0 \pm 0.12\text{mm} \\ 6.0 \pm 0.12\text{mm} \end{matrix}$</td> <td>JISG3547準拠</td> <td>200巻線に1回</td> </tr> <tr> <td>引張強さ</td> <td>290N/mm²以上</td> <td>JISG3547準拠</td> <td>200巻線に1回</td> </tr> <tr> <td>母材の健全性</td> <td>母材に傷が付いていないこと</td> <td>JISH0401の間接法で使用する試験液によるメッキ溶脱後の母材鉄線の写真撮影</td> <td>200巻線に1回</td> </tr> <tr> <td>メッキ成分</td> <td>※2</td> <td>原子吸光分析法、またはICP発光分析法</td> <td>200巻線に1回</td> </tr> <tr> <td>メッキ付着量</td> <td>※2</td> <td>JISH0401準拠</td> <td>200巻線に1回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>短期性能型 摩擦係数0.90以上</td> <td>面的摩擦試験、または線の摩擦試験</td> <td>200巻線に1回</td> </tr> </tbody> </table>		項目 試験箇所	試験項目	基準値	試験方法	試験の頻度	工場	線径	$\begin{matrix} 3.2 \pm 0.09\text{mm} \\ 4.0 \pm 0.10\text{mm} \\ 5.0 \pm 0.12\text{mm} \\ 6.0 \pm 0.12\text{mm} \end{matrix}$	JISG3547準拠	5巻線※1に1回	引張強さ	290N/mm ² 以上	JISG3547準拠	5巻線に1回	ねじり特性	JISG3547の4.3	JISG3547準拠	5巻線に1回	巻付性	線径の1.5倍の円筒に6回以上巻き付け著しい亀裂及びはく離を生じない	JISG3547準拠	5巻線に1回	メッキ成分	※2	原子吸光分析法、またはICP発光分析法	5巻線に1回	メッキ付着量	※2	JISH0401準拠	5巻線に1回	公的試験機関	線径	$\begin{matrix} 3.2 \pm 0.09\text{mm} \\ 4.0 \pm 0.10\text{mm} \\ 5.0 \pm 0.12\text{mm} \\ 6.0 \pm 0.12\text{mm} \end{matrix}$	JISG3547準拠	200巻線に1回	引張強さ	290N/mm ² 以上	JISG3547準拠	200巻線に1回	母材の健全性	母材に傷が付いていないこと	JISH0401の間接法で使用する試験液によるメッキ溶脱後の母材鉄線の写真撮影	200巻線に1回	メッキ成分	※2	原子吸光分析法、またはICP発光分析法	200巻線に1回	メッキ付着量	※2	JISH0401準拠	200巻線に1回		短期性能型 摩擦係数0.90以上	面的摩擦試験、または線の摩擦試験	200巻線に1回	<p>表3-2-12 線材の品質管理試験の内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目 試験箇所</th> <th>試験項目</th> <th>基準値</th> <th>試験方法</th> <th>試験の頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">工場</td> <td>線径</td> <td>$\begin{matrix} 3.2 \pm 0.09\text{mm} \\ 4.0 \pm 0.10\text{mm} \\ 5.0 \pm 0.12\text{mm} \\ 6.0 \pm 0.12\text{mm} \end{matrix}$</td> <td>JIS G 3547準拠</td> <td>5巻線※1に1回</td> </tr> <tr> <td>引張強さ</td> <td>290N/mm²以上</td> <td>JIS G 3547準拠</td> <td>5巻線に1回</td> </tr> <tr> <td>ねじり特性</td> <td>JIS G 3547の4.3</td> <td>JIS G 3547準拠</td> <td>5巻線に1回</td> </tr> <tr> <td>巻付性</td> <td>線径の1.5倍の円筒に6回以上巻き付け著しい亀裂及びはく離を生じない</td> <td>JIS G 3547準拠</td> <td>5巻線に1回</td> </tr> <tr> <td>メッキ成分</td> <td>※2</td> <td>原子吸光分析法、またはICP発光分析法</td> <td>5巻線に1回</td> </tr> <tr> <td>メッキ付着量</td> <td>※2</td> <td>JIS G 3547準拠</td> <td>5巻線に1回</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">公的試験機関</td> <td>線径</td> <td>$\begin{matrix} 3.2 \pm 0.09\text{mm} \\ 4.0 \pm 0.10\text{mm} \\ 5.0 \pm 0.12\text{mm} \\ 6.0 \pm 0.12\text{mm} \end{matrix}$</td> <td>JIS G 3547準拠</td> <td>200巻線に1回</td> </tr> <tr> <td>引張強さ</td> <td>290N/mm²以上</td> <td>JIS G 3547準拠</td> <td>200巻線に1回</td> </tr> <tr> <td>母材の健全性</td> <td>母材に傷が付いていないこと</td> <td>JIS G 3547の間接法で使用する試験液によるメッキ溶脱後の母材鉄線の写真撮影</td> <td>200巻線に1回</td> </tr> <tr> <td>メッキ成分</td> <td>※2</td> <td>原子吸光分析法、またはICP発光分析法</td> <td>200巻線に1回</td> </tr> <tr> <td>メッキ付着量</td> <td>※2</td> <td>JIS G 3547準拠</td> <td>200巻線に1回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>短期性能型 摩擦係数0.90以上</td> <td>面的摩擦試験、または線の摩擦試験</td> <td>200巻線に1回</td> </tr> </tbody> </table>		項目 試験箇所	試験項目	基準値	試験方法	試験の頻度	工場	線径	$\begin{matrix} 3.2 \pm 0.09\text{mm} \\ 4.0 \pm 0.10\text{mm} \\ 5.0 \pm 0.12\text{mm} \\ 6.0 \pm 0.12\text{mm} \end{matrix}$	JIS G 3547準拠	5巻線※1に1回	引張強さ	290N/mm ² 以上	JIS G 3547準拠	5巻線に1回	ねじり特性	JIS G 3547の4.3	JIS G 3547準拠	5巻線に1回	巻付性	線径の1.5倍の円筒に6回以上巻き付け著しい亀裂及びはく離を生じない	JIS G 3547準拠	5巻線に1回	メッキ成分	※2	原子吸光分析法、またはICP発光分析法	5巻線に1回	メッキ付着量	※2	JIS G 3547準拠	5巻線に1回	公的試験機関	線径	$\begin{matrix} 3.2 \pm 0.09\text{mm} \\ 4.0 \pm 0.10\text{mm} \\ 5.0 \pm 0.12\text{mm} \\ 6.0 \pm 0.12\text{mm} \end{matrix}$	JIS G 3547準拠	200巻線に1回	引張強さ	290N/mm ² 以上	JIS G 3547準拠	200巻線に1回	母材の健全性	母材に傷が付いていないこと	JIS G 3547の間接法で使用する試験液によるメッキ溶脱後の母材鉄線の写真撮影	200巻線に1回	メッキ成分	※2	原子吸光分析法、またはICP発光分析法	200巻線に1回	メッキ付着量	※2	JIS G 3547準拠	200巻線に1回		短期性能型 摩擦係数0.90以上	面的摩擦試験、または線の摩擦試験	200巻線に1回	
項目 試験箇所	試験項目	基準値	試験方法	試験の頻度																																																																																																														
工場	線径	$\begin{matrix} 3.2 \pm 0.09\text{mm} \\ 4.0 \pm 0.10\text{mm} \\ 5.0 \pm 0.12\text{mm} \\ 6.0 \pm 0.12\text{mm} \end{matrix}$	JISG3547準拠	5巻線※1に1回																																																																																																														
	引張強さ	290N/mm ² 以上	JISG3547準拠	5巻線に1回																																																																																																														
	ねじり特性	JISG3547の4.3	JISG3547準拠	5巻線に1回																																																																																																														
	巻付性	線径の1.5倍の円筒に6回以上巻き付け著しい亀裂及びはく離を生じない	JISG3547準拠	5巻線に1回																																																																																																														
	メッキ成分	※2	原子吸光分析法、またはICP発光分析法	5巻線に1回																																																																																																														
	メッキ付着量	※2	JISH0401準拠	5巻線に1回																																																																																																														
公的試験機関	線径	$\begin{matrix} 3.2 \pm 0.09\text{mm} \\ 4.0 \pm 0.10\text{mm} \\ 5.0 \pm 0.12\text{mm} \\ 6.0 \pm 0.12\text{mm} \end{matrix}$	JISG3547準拠	200巻線に1回																																																																																																														
	引張強さ	290N/mm ² 以上	JISG3547準拠	200巻線に1回																																																																																																														
	母材の健全性	母材に傷が付いていないこと	JISH0401の間接法で使用する試験液によるメッキ溶脱後の母材鉄線の写真撮影	200巻線に1回																																																																																																														
	メッキ成分	※2	原子吸光分析法、またはICP発光分析法	200巻線に1回																																																																																																														
	メッキ付着量	※2	JISH0401準拠	200巻線に1回																																																																																																														
		短期性能型 摩擦係数0.90以上	面的摩擦試験、または線の摩擦試験	200巻線に1回																																																																																																														
項目 試験箇所	試験項目	基準値	試験方法	試験の頻度																																																																																																														
工場	線径	$\begin{matrix} 3.2 \pm 0.09\text{mm} \\ 4.0 \pm 0.10\text{mm} \\ 5.0 \pm 0.12\text{mm} \\ 6.0 \pm 0.12\text{mm} \end{matrix}$	JIS G 3547準拠	5巻線※1に1回																																																																																																														
	引張強さ	290N/mm ² 以上	JIS G 3547準拠	5巻線に1回																																																																																																														
	ねじり特性	JIS G 3547の4.3	JIS G 3547準拠	5巻線に1回																																																																																																														
	巻付性	線径の1.5倍の円筒に6回以上巻き付け著しい亀裂及びはく離を生じない	JIS G 3547準拠	5巻線に1回																																																																																																														
	メッキ成分	※2	原子吸光分析法、またはICP発光分析法	5巻線に1回																																																																																																														
	メッキ付着量	※2	JIS G 3547準拠	5巻線に1回																																																																																																														
公的試験機関	線径	$\begin{matrix} 3.2 \pm 0.09\text{mm} \\ 4.0 \pm 0.10\text{mm} \\ 5.0 \pm 0.12\text{mm} \\ 6.0 \pm 0.12\text{mm} \end{matrix}$	JIS G 3547準拠	200巻線に1回																																																																																																														
	引張強さ	290N/mm ² 以上	JIS G 3547準拠	200巻線に1回																																																																																																														
	母材の健全性	母材に傷が付いていないこと	JIS G 3547の間接法で使用する試験液によるメッキ溶脱後の母材鉄線の写真撮影	200巻線に1回																																																																																																														
	メッキ成分	※2	原子吸光分析法、またはICP発光分析法	200巻線に1回																																																																																																														
	メッキ付着量	※2	JIS G 3547準拠	200巻線に1回																																																																																																														
		短期性能型 摩擦係数0.90以上	面的摩擦試験、または線の摩擦試験	200巻線に1回																																																																																																														
表3-2-26 マーシャル安定度試験基準値		表3-2-26 マーシャル安定度試験基準値		誤字																																																																																																														
<p>表3-2-26 マーシャル安定度試験基準値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安定度 kN</td> <td>3.43以上</td> </tr> <tr> <td>フロー値 (1/100cm)</td> <td>10~40</td> </tr> <tr> <td>空げき率 (%)</td> <td>3~12</td> </tr> </tbody> </table> <p>[注] 25mmを超える骨材部分は、同重量だけ25mm~13mmで置き換えてマーシャル安定度試験を行う。</p>		項目	基準値	安定度 kN	3.43以上	フロー値 (1/100cm)	10~40	空げき率 (%)	3~12	<p>表3-2-26 マーシャル安定度試験基準値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安定度 kN</td> <td>3.43 以上</td> </tr> <tr> <td>フロー値 (1/100cm)</td> <td>10~40</td> </tr> <tr> <td>空隙率 (%)</td> <td>3~12</td> </tr> </tbody> </table> <p>[注] 25mmを超える骨材部分は、同重量だけ25mm~13mmで置き換えてマーシャル安定度試験を行う。</p>		項目	基準値	安定度 kN	3.43 以上	フロー値 (1/100cm)	10~40	空隙率 (%)	3~12																																																																																															
項目	基準値																																																																																																																	
安定度 kN	3.43以上																																																																																																																	
フロー値 (1/100cm)	10~40																																																																																																																	
空げき率 (%)	3~12																																																																																																																	
項目	基準値																																																																																																																	
安定度 kN	3.43 以上																																																																																																																	
フロー値 (1/100cm)	10~40																																																																																																																	
空隙率 (%)	3~12																																																																																																																	
表3-2-31 接着剤の規格鋼床版用		表3-2-31 接着剤の規格鋼床版用		JISの改正																																																																																																														
<p>表3-2-31 接着剤の規格鋼床版用</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>規格値</th> <th rowspan="2">試験法</th> </tr> <tr> <th>ゴムアスファルト系</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不揮発分 (%)</td> <td>50以上</td> <td>JIS K6833-1,2</td> </tr> <tr> <td>粘度 (25℃) [Poise(Pa·s)]</td> <td>5(0.5)以下</td> <td>JIS K6833-1,2</td> </tr> <tr> <td>指触乾燥時間 (分)</td> <td>90以下</td> <td>JIS K5600</td> </tr> <tr> <td>低温風曲試験 (-10℃, 3mm)</td> <td>合格</td> <td>JIS K5600</td> </tr> <tr> <td>基盤目試験 (点)</td> <td>10</td> <td>JIS K5600</td> </tr> <tr> <td>耐湿試験後の基盤目試験 (点)</td> <td>8以上</td> <td>JIS K5664</td> </tr> <tr> <td>塩水暴露試験後の基盤目試験 (点)</td> <td>8以上</td> <td>JIS K5600</td> </tr> </tbody> </table> <p>[注] 基盤目試験の判定点は(財)日本塗料検査協会「塗膜の評価基準」の標準判定写真による。</p>		項目	規格値	試験法	ゴムアスファルト系	不揮発分 (%)	50以上	JIS K6833-1,2	粘度 (25℃) [Poise(Pa·s)]	5(0.5)以下	JIS K6833-1,2	指触乾燥時間 (分)	90以下	JIS K5600	低温風曲試験 (-10℃, 3mm)	合格	JIS K5600	基盤目試験 (点)	10	JIS K5600	耐湿試験後の基盤目試験 (点)	8以上	JIS K5664	塩水暴露試験後の基盤目試験 (点)	8以上	JIS K5600	<p>表3-2-31 接着剤の規格鋼床版用</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>規格値</th> <th rowspan="2">試験法</th> </tr> <tr> <th>ゴムアスファルト系</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不揮発分 (%)</td> <td>50以上</td> <td>JIS K6833-1,2</td> </tr> <tr> <td>粘度 (25℃) [Poise(Pa·s)]</td> <td>5(0.5)以下</td> <td>JIS K6833-1,2</td> </tr> <tr> <td>指触乾燥時間 (分)</td> <td>90以下</td> <td>JIS K5600</td> </tr> <tr> <td>低温風曲試験 (-10℃, 3mm)</td> <td>合格</td> <td>JIS K5600</td> </tr> <tr> <td>基盤目試験 (点)</td> <td>10</td> <td>JIS K5600</td> </tr> <tr> <td>耐湿試験後の基盤目試験 (点)</td> <td>8以上</td> <td>JIS K5600</td> </tr> <tr> <td>塩水暴露試験後の基盤目試験 (点)</td> <td>8以上</td> <td>JIS K5600</td> </tr> </tbody> </table> <p>[注] 基盤目試験の判定点は(一財)日本塗料検査協会「塗膜の評価基準」の標準判定写真による。</p>		項目	規格値	試験法	ゴムアスファルト系	不揮発分 (%)	50以上	JIS K6833-1,2	粘度 (25℃) [Poise(Pa·s)]	5(0.5)以下	JIS K6833-1,2	指触乾燥時間 (分)	90以下	JIS K5600	低温風曲試験 (-10℃, 3mm)	合格	JIS K5600	基盤目試験 (点)	10	JIS K5600	耐湿試験後の基盤目試験 (点)	8以上	JIS K5600	塩水暴露試験後の基盤目試験 (点)	8以上	JIS K5600																																																													
項目	規格値		試験法																																																																																																															
	ゴムアスファルト系																																																																																																																	
不揮発分 (%)	50以上	JIS K6833-1,2																																																																																																																
粘度 (25℃) [Poise(Pa·s)]	5(0.5)以下	JIS K6833-1,2																																																																																																																
指触乾燥時間 (分)	90以下	JIS K5600																																																																																																																
低温風曲試験 (-10℃, 3mm)	合格	JIS K5600																																																																																																																
基盤目試験 (点)	10	JIS K5600																																																																																																																
耐湿試験後の基盤目試験 (点)	8以上	JIS K5664																																																																																																																
塩水暴露試験後の基盤目試験 (点)	8以上	JIS K5600																																																																																																																
項目	規格値	試験法																																																																																																																
	ゴムアスファルト系																																																																																																																	
不揮発分 (%)	50以上	JIS K6833-1,2																																																																																																																
粘度 (25℃) [Poise(Pa·s)]	5(0.5)以下	JIS K6833-1,2																																																																																																																
指触乾燥時間 (分)	90以下	JIS K5600																																																																																																																
低温風曲試験 (-10℃, 3mm)	合格	JIS K5600																																																																																																																
基盤目試験 (点)	10	JIS K5600																																																																																																																
耐湿試験後の基盤目試験 (点)	8以上	JIS K5600																																																																																																																
塩水暴露試験後の基盤目試験 (点)	8以上	JIS K5600																																																																																																																
表3-2-40 マーシャル安定度試験基準値		表3-2-40 マーシャル安定度試験基準値		誤字																																																																																																														
<p>表3-2-40 マーシャル安定度試験基準値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安定度 kN</td> <td>3.43以上</td> </tr> <tr> <td>フロー値 (1/100cm)</td> <td>10~40</td> </tr> <tr> <td>空げき率 (%)</td> <td>3~12</td> </tr> </tbody> </table> <p>[注] 25mmを超える骨材部分は、同重量だけ25mm~13mmで置き換えてマーシャル安定度試験を行う。</p>		項目	基準値	安定度 kN	3.43以上	フロー値 (1/100cm)	10~40	空げき率 (%)	3~12	<p>表3-2-40 マーシャル安定度試験基準値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安定度 kN</td> <td>3.43以上</td> </tr> <tr> <td>フロー値 (1/100cm)</td> <td>10~40</td> </tr> <tr> <td>空隙率 (%)</td> <td>3~12</td> </tr> </tbody> </table> <p>[注] 25mmを超える骨材部分は、同重量だけ25mm~13mmで置き換えてマーシャル安定度試験を行う。</p>		項目	基準値	安定度 kN	3.43以上	フロー値 (1/100cm)	10~40	空隙率 (%)	3~12																																																																																															
項目	基準値																																																																																																																	
安定度 kN	3.43以上																																																																																																																	
フロー値 (1/100cm)	10~40																																																																																																																	
空げき率 (%)	3~12																																																																																																																	
項目	基準値																																																																																																																	
安定度 kN	3.43以上																																																																																																																	
フロー値 (1/100cm)	10~40																																																																																																																	
空隙率 (%)	3~12																																																																																																																	
図3-2-6 耳芝		図3-2-6 耳芝		貼芝の表記を見やすく修正																																																																																																														
<p>図3-2-6 耳芝</p>		<p>図3-2-6 耳芝</p>																																																																																																																

鳥取県土木工事共通仕様書 新旧対照表

現行（令和3年版）	改定後（令和6年版）	改定理由						
	<p>表10-15-1 作業区分</p> <p style="text-align: center;">表10-15-1 作業区分</p> <table border="1" data-bbox="1045 335 1740 504"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>作業時間帯</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昼間作業</td> <td>7時00分～19時00分</td> </tr> <tr> <td>夜間作業</td> <td>19時00分～7時00分</td> </tr> </tbody> </table>	作業区分	作業時間帯	昼間作業	7時00分～19時00分	夜間作業	19時00分～7時00分	新規追加
作業区分	作業時間帯							
昼間作業	7時00分～19時00分							
夜間作業	19時00分～7時00分							